

令和6年能登半島地震における 支援活動報告

公益社団法人 日本薬剤師会
会長 岩月 進

令和6年能登半島地震への支援活動について

■ 2024年1月1日

- ・日本薬剤師会会長（山本信夫）を本部長とする「災害対策本部」を設置。
被害が想定される4県（福井、石川、富山、新潟）の県薬剤師会と連絡を取り、
現地の被災状況を確認する。

■ 2024年1月2日

- ・被害が大きい石川県薬剤師会の災害対策本部会議にWebで参加し、現状把握と情報収集を行う。

■ 2024年1月6日

- ・石川県薬剤師会災害対策本部に担当役員を派遣し、今後の対応について協議。

■ 2024年1月7日～2024年2月25日（50日間）

- ・岐阜県モバイルファーマシーを珠洲地区に派遣。（延べ13台を派遣）

■ 2024年1月9日～2024年3月11日（65日間）

- ・**日本薬剤師会災害対策金沢本部を設置。**
支援薬剤師の派遣調整やMPの出動要請と派遣先の調整業務、レンタカーの管理等を開始。

■ 2024年1月9日～2024年3月31日（85日間）

- ・羽咋市柴垣の【国立能登青少年交流の家】を拠点とし、
珠洲、門前、輪島、穴水、能登町
避難者休養施設としての防衛省確保船舶（七尾港）
1.5次避難所（いしかわ総合スポーツセンター）

における支援活動を実施。

【支援薬剤師による主な支援内容】

- ◆ モバイルファーマシー等での調剤及び服薬指導
- ◆ 避難所における医薬品や健康に関する相談
- ◆ 避難所における衛生管理や環境管理
- ◆ 医薬品使用に関する医師や看護師等へ情報提供
- ◆ 一般用医薬品の保管・管理及び被災者への供給



避難所での服薬指導の様子



モバイルファーマシー



一般用医薬品等の提供（はくおう船内）

各地区における派遣薬剤師の延べ人数

総数4,759名(※DMAT、JMAT等の医療チーム薬剤師は含まず)

日薬スキームによる派遣者

2,395名

うちMPチーム (5地区・延べ13台) 528名
災害処方箋枚数:1,834枚

石川県薬剤師会による派遣者

1,701名

- 病院薬剤部支援 572名
- 日本チェーンドラッグストア協会等 91名

